

# にしめら 議会だより



2025 5月

No.177

発行：西米良村議会

- ◎ 第1回定例会 …… P 2
- ◎ 条 例 改 正 …… P11
- ◎ 現 地 調 査 …… P12
- ◎ 第1回臨時議会 …… P13
- ◎ 監査室より …… P13
- ◎ 委員会調査報告 …… P15
- ◎ 一 般 質 問 …… P19

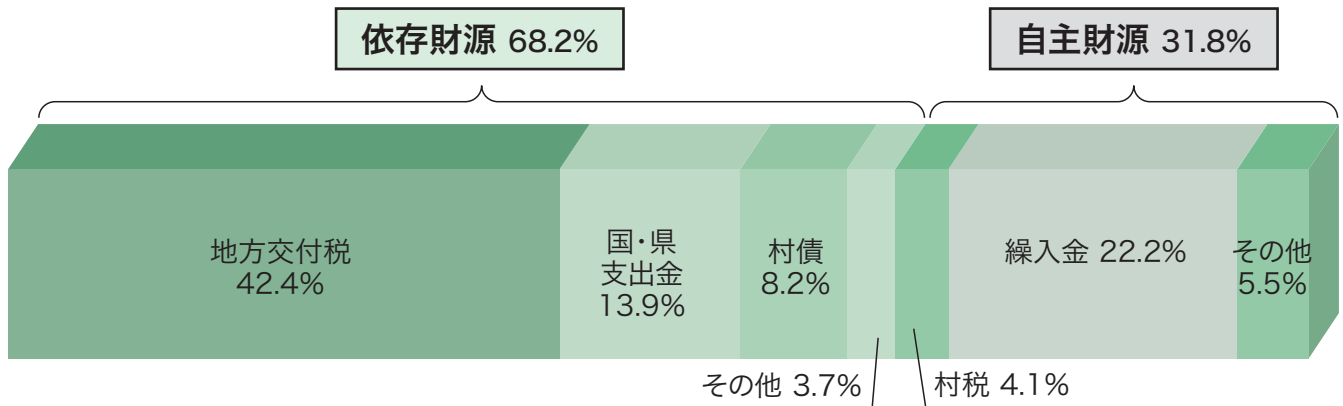
100歳(百寿)を迎えられた佐伯正直さん(村所)



# 30億2,900万円

## 育成を進める政策を反映

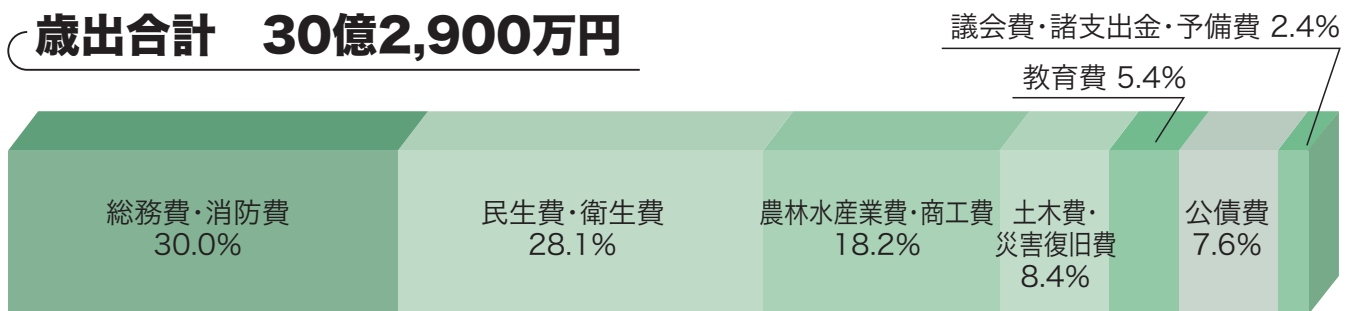
歳入合計 30億2,900万円



### ◆令和7年度一般会計当初予算歳入の状況

|                          |        |            |                                |
|--------------------------|--------|------------|--------------------------------|
| 歳入<br>依存財源<br>20億6,748万円 | 地方交付税  | 12億8,476万円 | 一定の基準で計算された財源不足額に対して国から交付されるもの |
|                          | 国・県支出金 | 4億2,105万円  | 決まった目的に使うため、国や県から交付されるもの       |
|                          | 村債     | 2億4,910万円  | 道路や公共施設の建設などの事業を実施するときに借りるもの   |
|                          | その他    | 1億1,257万円  | 色々な基準で国から交付されるもの               |
| 自主財源<br>9億6,152万円        | 村税     | 1億2,375万円  | 村民が収める税金                       |
|                          | 繰入金    | 6億7,175万円  | 村の基金(貯金)から繰り入れるもの              |
|                          | その他    | 1億6,602万円  | 制度や財産の活用で収入となるもの               |
| 合計                       |        | 30億2,900万円 |                                |

歳出合計 30億2,900万円



### ◆令和7年度一般会計当初予算歳出の状況

|    |              |            |                                |
|----|--------------|------------|--------------------------------|
| 歳出 | 総務費・消防費      | 9億0,684万円  | 移住定住、税の徴収、村民の安全・安心などのために使われるもの |
|    | 民生費・衛生費      | 8億4,986万円  | 村民の福祉の増進や健康増進のために使われるもの        |
|    | 農林水産業費・商工費   | 5億5,089万円  | 農林水産業・商工業の推進に使われるもの            |
|    | 土木費・災害復旧費    | 2億5,564万円  | 道路や公共施設の建設・修繕、災害の復旧に使われるもの     |
|    | 教育費          | 1億6,212万円  | 学校教育・社会教育・文化財保護などに使われるもの       |
|    | 公債費          | 2億2,896万円  | 村の借金の返済に使われるもの                 |
|    | 議会費・書支出金・予備費 | 7,469万円    | 議会運営やその他の支出に使われるもの             |
| 合計 |              | 30億2,900万円 |                                |

# 令和7年度一般会計

## 定住人口の増加・人材

令和7年第1回定例会を3月7日から14日までの8日間開催。

令和7年度一般会計及び特別会計の当初予算4件、令和6年度補正予算7件、条例制定・改正（発議案含む）7件、公の施設の指定管理者の指定1件、人権擁護委員候補者の推薦の同意1件を審議しすべてを原案のとおり可決・同意した。

一般質問は、村長に対し3名、教育長に対し2名が行った。

### ◆令和7年度一般会計・特別会計予算

| 会 計 名   |                   | 令和7年度予算    | 令和6年度予算    | 前年度比   |
|---------|-------------------|------------|------------|--------|
| 一 般 会 計 |                   | 30億2,900万円 | 31億9,005万円 | 5.0%減  |
| 特 別 会 計 | 国 民 健 康 保 険 事 業   | 3億4,784万円  | 2億7,208万円  | 27.8%増 |
|         | 西 米 良 診 療 施 設     | 3億 890万円   | 3億 69万円    | 2.7%増  |
|         | 介 護 保 険 事 業       | 1億8,775万円  | 1億7696万円   | 6.1%増  |
|         | 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 | 2,887万円    | 2,521万円    | 14.5%増 |
| 合 計     |                   | 39億 236万円  | 39億6,499万円 | 1.6%減  |

### ◆令和7年度公営企業会計

| 事 業 名       | 収益的支出予定額 | 資本的支出予定額  | 計         |
|-------------|----------|-----------|-----------|
| 簡 易 水 道 事 業 | 8,999万円  | 1億9,202万円 | 2億8,201万円 |
| 下 水 道 事 業   | 4,354万円  | 1,019万円   | 5,373万円   |

### ◆一般会計の主な事業

|                                        |          |
|----------------------------------------|----------|
| ・ふるさと再生事業（農業＋他業種の生業づくり、観光体制の強化を行う）     | 10,500千円 |
| ・地方創生ブランディング事業（保育留学の立ち上げを行う）           | 13,850千円 |
| ・村所小学校創立150周年事業（令和8年6月の150周年に向けた事業を行う） | 1,383千円  |
| ・ふるさと納税寄付感謝事業（企業版ふるさと納税の取組み等を強化する）     | 16,322千円 |
| ・観光協会運営補助金（「やまびこ花火大会」実施の補助を行う）         | 6,500千円  |
| ・百菜屋運営事業（観光案内・お食事処として安定的な経営を支援する）      | 8,746千円  |
| ・地域おこし協力隊事業（募集内容を見直し、必要な人材の募集を行う）      | 50,333千円 |
| ・西米良温泉管理運営事業（改修した簡易宿泊施設を活かし、安定した運営を行う） | 23,027千円 |
| ・かりこぼーず商品券交付事業（1人1万円の商品券を交付し、消費喚起を促す）  | 11,000千円 |
| ・商工会運営補助金（商工会の運営を支援し、機能維持を行う）          | 5,226千円  |
| ・学力向上対策事業（中学生に、宮大生の対面指導を重視した村営塾を実施する）  | 12,735千円 |
| ・移住・定住対策事業（Uターン者への奨励金交付等を行い、移住を推進する）   | 31,453千円 |
| ・菊池公追悼剣道大会（令和7年度は70周年記念大会として実施する）      | 1,000千円  |

# 令和7年度一般会計当初予算を委員会で審議し可決した

歳入歳出の予算総額は、30億2900万円で、前年度より1億6104万7千円の減額予算となった。

**田爪朝幸** 企業版ふるさと納税アドバイザーの内容は？

**答** 内閣府の企業版ふるさと納税マッチングアドバイザー制度を活用し、

企業版ふるさと納税に関するの助言を頂く予定としている。2～4回程度の研修も行いたいと考えている。

**黒木敏浩** ガバメントクラウドの内容は？

**答** デジタル化の推進に向けて地方自治体で持っている業務、基幹システムの統一を進め効率化を図る。基本的には政府が持つクラウド上にそれぞれの自治体がシステムを再構築して統一標準化したものを構築していくこと

になる。構築費用については国の補助が出るが、システムの保守料などの負担が多少増えてくると考えられる。

**濱砂恒光** 越野尾活性化センター建設工事の内容は？

**答** 経費として1億6千万円、管理委託450万円を計上している。延べ

床面積は298.5㎡で、内訳は集会所296.5㎡、消防詰所29㎡で別棟ではなく一体化したような形となる。その中に食品加工施設も併設される。着工は6月末予定で令和8年度2月完成予定としている。

**田爪朝幸** 地域未来創生スクールの内容は？

**答** 地域の未来を担う実践力を備えた自治体職員を育成することを目的に、ふるさと財団が令和7年より始める研修となる。職員1名の派遣を予定している。

**黒木敏浩** ふるさと再生事業と保育留学の内容は？

**答** ふるさと再生事業では農業とリモートワークなど複合経営をなりわいとし、西米良に移住定住していく方を募る内容と、観光ツーリズムの創出、DMO(観光地域づくり法人)の立ち上げを目指すこと、西米良村の魅力の再発見・発信をしていく内容となる。



地域未来創生スクール

**児玉義和** カップリングイベント補助金の内容は？

**答** 組織づくりに時間を要してしまったが、何とか軌道に乗り先日はカップリングイベントを開催することができた。村外から女性に来て頂き連絡先を交換するなど打ち解け、今後に続きそうだと感じた。新年度についても国の補助金を活用し実を結ぶ取り組みを組織の方々と話し合いを行いながら進めて参りたい。

**児玉義和** 免許返納者商店街利用券の利用状況は？

**答** 一人当たり14万4千円交付させて頂いている。

**上米良重光** 空き家改修の予算は足りるのか？

**答** 空き家改修事業につ

期限については設けていない。一括で使われる方や少しずつ使われる方それぞれにいらっしゃる状況である。今後利用者が増えてくると思われるので、その都度利用等についてのお話をさせて頂きたい。

**白石幸喜** 広域的バス路線運行補助金の内容は見直しの時期に来ているのではないか？

**答** 宮崎交通に支払っている運行費用の中の運賃収入を差し引いた金額に西米良村が86.47%、西米良村が13.53%の按分率で計上している。見直しについては大きな問題であり慎重な協議が必要だと考えている。時間を要すると思うが検討して参りたい。

保育留学は、都市部の



いては、県より3分の2の補助金を頂き実施している。先に可決頂いた空き家等対策の推進に関する条例の空き家等対策計画に位置付けできれば国の補助金も活用できるが、補助金活用については協議を重ねて参りたい。

**黒木敏浩** 地域活性化起業人の内容は？

**答** 総務省の事業で3大都市圏の企業等に勤務しながら本村で副業を行って頂く事業になる。派遣期間は6か月以上3年以内で、月4日以上かつ月20時間以上の勤務に相当する業務を行うことなどが条件となり特別交付税措置がなされる。

**田爪朝幸** Uターン応援奨励金の内容は？

**答** 村出身者のUターンを促進し、人口の維持と地域の担い手づくりを図

るために新設するものである。交付対象者は、出生から15歳までの間に3年間以上住民登録された方で、定住の意思を持って今年の4月1日以降に転入された満18歳以上40歳未満の方が対象となる。

**答** 奨励金については移住奨励金と定住奨励金の2段階の支援を考えている。

**児玉義和** 米コンテスト優良米の利活用について。

**答** 現在、米コンテストの製品米には優良米のステッカー等を配布するなどの支援に限られている。昨今の米不足の状況や西米良村の米の質が見直されていることなどを踏ま

え、ふるさと納税の新商品に繋がるものと考えている。関係機関と連携を図りながら利活用を協議して参りたい。

**黒木敏浩** ゆず青果販売と新商品開発委託の内容は？

**答** 西米良のゆずは、調査の結果から香りの高さや認められており個包装を活用することにより長期保存できる。野菜のソムリエや販路を持ったバイヤーの方々に業務を委託し、卸業社や飲食店等に付加価値をつけて卸すことでゆず生産者の所得の向上を目指すものである。

**答** 生産者の技術力の違いがあるが、その成功モデルを作ることによって新しい生産者の意欲の向上に繋がるよう検討して参りたい。

**上米良重光** 温泉施設の

全体的な見直しの時期に参っているのでは？

**答** 温泉がオープンして25年が経過している。一度リニューアルは行ったが、老朽化が進んできていることから検討するべき時期が来ていると考えているので、前向きに検討をさせていただきたい。

**濱砂征夫** 温泉にある福祉施設あとの宿泊施設料金について。

**答** 料金設定については、

**答** 鮎中間育成施設は村の施設ではあるが土地については井戸内養魚場名義となつているため無償で貸し付けを行っている。漁協の独立については漁協役員の皆様と協議をさせて頂いたが、独立させると言うような方向には進んでいない現状にある。

**濱砂征夫** 毎木調査用機械購入の内容は？

**答** 小さなバック型の機械を背中に背負い、山林の中を歩くだけでバックから発信されるレーザーの反射を利用し、森林の3Dデータを作成することができる機材である。

**答** 料米良の庄が専門家と検討しているところである。宿泊プランを作ること旅行予約サイトなどの利用もできることから、専門家の意見を聞きながら稼げる観光地にするためしっかりと検討を進めて参りたい。

**白石幸喜** 鮎中間育成施設の今後の利用方法と漁協を独立させる考えは？

設の今後の利用方法と漁協を独立させる考えは？

正確に測れないこともあるので除伐などを行う必



米コンテスト優良米シール

要がある。

**児玉義和** 商工会運営補助金の増額の理由は？

**答** 令和8年度から西米良村商工会、木城町商工会、西都市三財商工会が

合同設置となり、西米良に経営指導員が駐在しなくなる。対策として西米良村商工会に事務局コー

ディネーターを設置する必要があるので、令和7

年度中に人材確保を行って、業務引継ぎを行うため半年分の人件費を計上している。

**濱砂恒光** かりこぼらず商品券の内容は？

**答** 令和6年度に行ったものと同じ形になると考えている。村民1人当たり1万円の商品券を発行し商店街の売り出しに合わせられればと考えている。予算が通りしだい商工会と打ち合わせを行う。

**白石幸喜** 上米良住宅用地復元測量の説明と用地の募集は？

**答** 上米良住宅用地4区画の復元測量と竹原山村

定住住宅の分筆を予定している。上米良住宅用地の測量が終了次第、販売促進を進めて参りたい。

**濱砂恒光** 村営住宅修繕の計画は？

**答** 昨年は給湯器の入れ替えを行ったが費用が掛かったため、今回は昨年を考慮し予算を計上させて頂いた。

**田爪朝幸** 村所小創立150周年記念事業の内容は？

**答** 明治9年6月に創立、令和8年6月で150周年を迎えるにあたり令和7年度に検討委員会を設立し、記念誌を700冊ほど印刷製本し全世帯、関係者に配布等を行いた



村所小学校

いと考えている。

**濱砂征夫** 村営塾等業務委託の内容は？

**答** 村営塾の契約先を東京大学から宮崎大学に変更する。東大から宮大に変えることで塾の日数が増え教科も全教科になり

夏期学習では講師を増員することにより個別指導

を充実させる意味合いもある。また大学の研究材料として大学の先生方が積極的に関わって頂くメリットもある。

**上米良重光** 神楽運営補助金の見直しの考えは？

**答** 現在、村所神楽保存会に4万5千円、小川、

越野尾神楽保存会にそれぞれ3万円を交付している。それとは別に文化承

継事業補助金として夜神楽を一晚中された場合は10万円、半夜開催の場合は5万円を交付している。

決算状況を調べさせていた。ただ補助金等の検討をさせていたきたい。

**白石幸喜** 新しい形のメラリンピックの開催と

は？

**答** メラリンピックについては、小中学校と村民の運動会として実施しているが、10月、11月に色んな行事が重なっていることもあり、ふたば園運動会の合同開催も含めて検討をしている。令和7年度については従来通りの開催を予定しており、8年度以降の新しい形を

## 特別会計

### ◆国民健康保険事業

**黒木敏浩** 役務費の中に

「子ども子育て支援金制度」システム改修とあるが、令和8年度導入に係るシステム構築のことか？

**答** 令和8年度からの新制度で、児童手当の拡充や少子化対策の財源として、後期高齢者を含む医療保険制度の加入者全体で負担するもの。子ども

子育て支援金制度の均等割りについては、18歳以上の被保険者が、18歳未満の被保険者分の保険料を負担するというもの。

**黒木敏浩** 保険料収納手数料とあるが、QRコード決済分も含まれているのか？

**答** 今回はQRコード決

済分は入っていない。約150世帯の10期分に係る収納手数料として計上している。

**濱砂征夫** 高額療養費が昨年に比べて2300万円増額されているが？

**答** 昨年度の一般被保険者療養費と一般被保険者高額療養費の補正予算を鑑みて、増額予算を計上した。

## ◆診療施設

**黒木敏浩** 業務委託料616万8千円と、使用料及び賃借料の中の賃借料293万9千円の内容説明を。

**答** 委託料の増額は、診療所全施設のエアコンの分解洗浄を予定するもの。賃借料の減額は、在宅酸素の賃借料を今年度から医業費の賃借料に移行したため総務費の賃借料が

減額となったものである。

**濱砂恒光** 備品購入費938万円の内容は？

**答** 病室での入院患者の状態をナースステーションで把握できるモニターを、4台購入予定で計上したものである。

**黒木敏浩** 保守委託料478万2千円、業務委託料440万円の内容と賃借料497万2千円の説明を。

**答** 保守委託料については、レントゲン画像システムの更新、改修。

ポータブルレントゲンエックス線装置とレントゲンシステムとの連携業務を委託し、AIを活用した診療を目指すものである。

賃借料については、在宅酸素の経費に係る金額を420万円ほど計上している。

**濱砂恒光** 人生100年時代づくり地域創生ソフト事業交付金300万円の説明を願いたい。

**答** 公益財団法人地域社会振興財団の地域医療従事医師養成事業というメニューで県を通じて申請するもの。現在は、三

財病院からの応援診療、代直の先生方の経費に充当させていただいている。

**濱砂征夫** 診療所の診察待ちの時間が長いという話を聞く。完全な予約制ではなく、半分くらいは予約制にすれば、患者の待ち時間が少しは短くなるのではないか？

**答** この件については以前から声が上がっており、公民館長会の中でも指摘を受けたところである。ご迷惑をお掛けしているのは承知しており、医師の先生方や、看護師、職

員にもしつかり周知している。指摘の件を含め、上司、医師、看護師と相談しながら改善を図っていく。

## ◆介護保険事業

**黒木敏浩** 総合行政システム保守料（介護）110万4千円が計上されているが、新しいシステムのことか？

**答** システムは新しいものではなく、総務課の方で管理していた分を介護保険会計の方で支払うこととなったもの。

**黒木敏浩** 認定調査委託料3万6千円が計上されている。昨年より減額されているが、申請が減ったということか？

**答** 申請が減少したのではなく、今まで地域包括センターに審査の委託をしていたが、直営となり委

託料が不要となり減額したものである。

**上米良重光** 施設介護サービス給付費8520万円が計上されているが、天包荘の関係費用と考え

ていいのか？

**答** これは天包荘だけに限ったのではなく、特老をはじめすべての施設について、入所者の施設利用料として計上しているものである。

**黒木敏浩** 予算科目に新たに地域包括支援センター事業費が計上されているが？

**答** 令和6年度から地域包括支援センターを直営とし体制を整えたが、話がまとまった時点で予算まで村の直営にすること

ができなかったため、令和7年度から新しく計上したものである。

**田爪朝幸** 服薬管理委託



料420万円とあるが高  
齢者ハウスの委託料か。  
具体的な内容は？

**答** 福祉住宅の委託料で  
はない。にせぬら調剤薬  
局の方に、独居高齢者の  
方や、自分で服薬の管理  
が困難な方へ、その服薬  
の管理、服薬についての  
すべての事項をお願いし  
ているものである。

計で支払う事になったも  
のである。

## 公営企業会計

### ◆簡易水道事業

**上米良玲** 人口減少で水  
道料金は減少している反  
面、維持費は増えていく  
状況の中、値上げは検討  
しているか？

**答** 令和7年度に経営戦  
略の策定が終わった段階  
で、下水道と合わせて料  
金改定を協議していく。

**黒木敏浩** システム改修  
委託料99万円とシステ  
ム利用料14万1千円の  
説明を。

**答** システム改修につい  
ては、子ども子育て支援  
金制度の改正により、後  
期高齢者会計からも支払  
うこととなったための改  
修費。

システムの利用料は、  
総務課で一括支払いして  
いたものを後期高齢者会  
計で支払う事になったも  
のである。

**上米良重光** 起債償還の  
ピークはいつか？

**答** 現在のところは令和  
6年度がピークとなって  
いる。

**白石幸喜** 上米良地区の  
水道整備工事の進捗状況  
及び給水開始時期は？

**答** 導水管工事、配水管  
工事3月末に完成予定  
である。

令和7年度に次期工事  
を発注するが、機器の購  
入等が遅れており、わか  
る時期がきたら改めて報  
告する。

**田爪朝幸** 遠方監視装置  
設置工事の内容は？

**答** 現在、使用している  
2種類の装置のうち、ド  
コモのFOMA回線が廃  
止となるため、越野尾地  
区、桐原地区、松之本地  
区、竹原地区の監視装置  
の入れ替えを行うもの。

**児玉義和** 収入の割には、  
莫大な経費がかかり、減  
価償却費も多くない状況  
で、機器の交換や施設の

改修では、補助金等での  
対応となるのか？

**答** 経営戦略を策定する  
ことで補助金の対象とな  
るので、活用しながら施  
設の老朽化に対応したい。

**上米良玲** 道管の耐震化  
は計画的に検討すると聞  
いているが、上米良地区  
の工事終了後の計画はあ  
るか？

**答** 上米良地区の工事の  
次は横野地区の浄水場導  
水管等の改修を計画して  
いるので、耐震化の計画  
はその後に行う。

**田爪朝幸** 横野地区の工  
事の内容と時期は？

**答** 中武勝文さん宅奥の  
谷に浄水場を設置し、対  
岸までのすべてを計画し  
ており、令和9年度から  
事業着手できないか調整  
している。

**児玉義和** 貸借対照表の  
未集金2100万円の内  
容は？

職員が少なく負担が多  
いと思うが、メーター検  
針は正式に委託している  
のか？

**答** 未収金については、  
令和6年度の災害復旧の  
国庫補助金等がまだ納入  
されていないもの。

1名の方に6月から半  
年ほどやっていただいて  
いる。年間を通してやっ  
ていただく方を募集して  
いるが、応募がなく苦慮  
している。

**◆下水道事業**

**黒木敏浩** 処理場費の下  
水処理場水質検査料は、  
本年は総係費にあったが  
組み替えか？

**答** 科目の見直しで処理  
場費に計上した。



## 一般会計補正予算

今回の補正は、既定の予算から歳入歳出それぞれ2億8090万円を減額し、補正後の総額を3億5617万8千円とするものである。

**児玉義和** ふるさと納税

の寄附金額が約半分ほどに減額されているが原因は？

**答** ふるさと納税当初の予算額2600万円に対して、寄附見込額が1170万円であるため、その差額分を減額するものである。本年度は返礼品の充実に加え、間口を広げるため広報、発信等にも努めた。その結果、返礼品については提供事業者が8社から29社へ、返礼品数が25品目から77品目と増加したが、納税額は目標に届かないという状況であった。

**上米良玲** 財産貸付収入について、村民課約45万の増加の理由は？

また農林振興課60万の減額の理由は？

**答** 九州電力の配電線が増えているということと、携帯電話の基地局が増えているということが収入増の理由である。

**答** 板谷地区のしめじ工場を利用していた企業が撤退したことによる貸付収入減である。

**上米良玲** しめじ工場の今後の計画は？

**答** 現在事業者等を募集



しめじ工場跡地

するなど、在り方を検討中である。1部分については、堆肥の袋詰め事業所としての活用を検討している。

**上米良重光** 財産管理委

託料1千万減額の理由は？また地域おこし協力隊430万減額の理由は？

**答** 委託料減額は、越野尾活性化センターの設計委託業務の執行残が90

3万5千円、米良寮跡地の土地評価業務委託料の執行残が61万8千円、トラブル防止のために計上していた弁護士費用委託料が不使用であったため50万の執行残、合計1015万3千円を減額した。

**答** 地域おこし協力隊を途中で退職される方がいたため減額となった。

**濱砂恒光** 免許返納者商店街利用券交付について

状況は？

**答** 免許返納者は、本年度に入り3月現在で17名の方が免許を返納されている。商店街利用券は免許を返納された方に14万4千円の商品券をお渡ししている。使用期限は定めていない。

**濱砂恒光** 要望だが、高齢者になるといろんな病気が併発する。事故を起こして、免許証を取上げられる場合は致し方ないが、病気で返納した方には、何らかの優遇措置があってもいいのではないかと考える。今後考えてほしい。

**答** その件については、また検討する。

**児玉義和** カップリング

イベントについて内容と実績は？それからもう1件、社会福祉人材確保支援金170万の減額の説明と、福祉施設支援補

助金の600万増額について説明を。

**答** カップリングイベントについて、まず独身男性の組織作りに取り組み、講師を招いて身だしなみの勉強会等を行った。それから村外女性に来ていただく村内男性との交流会を開催した。大変盛り上がりつつ今後につながりそうだったという報告を受けている。

**答** 社会福祉人材確保支援金については、天包荘等に就職した有資格者または有資格を目指す方に対して支援する制度である。当初の予定で7名程度の雇用を予定していたが、就職して頂いた方が1名の方のみということで残りの支援金を減額するものである。福祉施設支援補助金についても天包荘に関する補助金で、まず屋根の漏水の緊急修

繕で1千万を予定していたが、詳細な点検を行った結果、屋根上の高架水槽の交換が必要ということがわかり、それにかかる経費の不足分600万を増額するものである。

**児玉義和** 天包荘について、いろいろ行政も手を差し伸べておられるが、あまり良くなったという声が共有できていない。村長はどのように考えておられるか？

**村長** なかなかうまくいっていないというような声を聞いている。やはり人の確保が難しいということ、既存の職員が退職されるという状況がまだ続いている所である。いま1度、様々な連携を図りながら前に進めていくしかないのが今のところの段階ではないかと考えている。

**田爪朝幸** 堆肥袋詰め機用施設電圧改修費の詳細は？

**答** 令和5年度に購入した堆肥の袋詰め機について電圧の不足が判明したため、今回修繕・改修の対応をして、しめじ工場跡地にて令和7年度より稼働を見込む予定である。

**濱砂征夫** 観光協会運営補助金の内訳と、官行造林の購入の詳細は？

**答** 観光協会運営補助金の内訳は、花火大会の財源確保のために行ったクラウドファンディングで集めた50万1千円と、

キリンビール「晴れ風」の助成事業で花火大会に對して頂いた85万1千円である。

**答** 購入する箇所は、板谷の竹元にある国との官行造林である。面積は27.5haで68年生の松が

植栽しており、材積が1万2381立法である。国の持分50%を本村が70万円で購入して今後村有林という形で管理を図っていくものである。

**濱砂恒光** ジビエカーの利用状況は？

**答** ジビエカーは修繕中であり稼働はできていない状況である。ジビエカーが戻り次第、運用を開始して実証実験に戻していきたいと考えている。

**黒木敏浩** 米良寮跡土地地賃貸借契約の56万円増額の内容は？

また、放課後児童クラブ運営業務委託料の300万円減額の内容は？

**答** 米良寮跡土地について賃貸借契約が令和7年3月31日で契約が終了するので、敷金約56万円を契約先であるアズプラニングへ返還するとい

うものである。現在、土地は更地になっている。

**答** 放課後児童クラブの減額の件だが、児童の利用数が減ったわけではなく、運営管理人の休み等で人件費が余ったものと元々の計上が多かったのが理由である。

## 特別会計補正予算

### ○国民健康保険事業

歳入歳出予算の総額からそれぞれ152万円を減額し、総額は3億1631万8千円とした。

### ○診療施設

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1139万5千円を減額し、総額は2億9739万1千円とした。

### ○介護保険事業

歳入歳出予算の総額か

らそれぞれ458万7千円を減額し、総額は2億295万7千円とした。

### ○後期高齢者医療事業

歳入歳出予算の総額からそれぞれ4万円を減額し、総額は2653万4千円とした。

## 公営企業会計

### ○簡易水道事業

収益的支出予定額を7034万8千円とした。資本的収入予定額を746万7千円減額し、1億6173万2千円とした。

### ○下水道事業

収益的支出を5406万4千円とした。

**児玉義和** マスコミで下水道の破損事故に伴う調査について報道されてい





に引き上げ、生活管理指導短期宿泊事業は金額に変更はないが規定がなかったため、3千円と定めた。

## 西米良村高額療養費支払資金基金条例を廃止する条例

昭和57年4月から運用され、制度当時は高額療養費の利用者が超過分も含めて支払う必要があったが、マイナンバー制度導入によりマイナンバーを保険証として利用する場合は、申請なしで高額療養費制度が適用になることから、条例の廃止をする。

## 公の施設の指定管理者の指定

小川城址と小川作小屋の指定管理者として、平成28年4月1日付けで指定したおがわ作小屋村運営協議会が、法人格を取

得して一般社団法人おがわ作小屋村へ移行した。

## 人権擁護委員候補者推薦に同意

令和7年6月30日をもつて任期満了となることから、2名の推薦について同意した。



甲斐景子 氏  
越野尾



吉敏幸 氏  
村所

## 議員発議

## 議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

2025年6月に施行される刑法改正にあわせ、条例の文言を「懲役」から「禁固刑」に改めるものである。

# 現地調査



令和5年度明許線越林道  
長谷・児原線災害復旧工事  
豪雨災害1号箇所



JA宮崎経済連繁殖牛  
センター西米良農場



カリコボーズの宿  
リニューアル事業の状況



浩然の気を養う補助金  
田爪智樹氏 (フレンド)衣類  
プリンター導入によるオリジナル商品



浩然の気を養う補助金  
濱砂充伸氏 (がねーぶ)食品  
加工場整備・食品小売業の再開



竹元谷地区復旧治山事業



## 第1回臨時議会

令和7年2月17日に臨時議会を開催し、次の議案について全会一致で承認・採決した。

令和5年度明許繰越  
林道長谷・児原線災  
害復旧工豪雨災害1  
号箇所の工事請負変  
更契約について

### 一般会計補正予算

#### 一般会計

歳入歳出それぞれ758万2千  
円追加し総額36億3707万  
8千円となった。

請負業者 河野建設株  
式会社 代表取締役  
河野 孝文  
請負金額 5956万  
2千円

黒木敏浩 掘削数量・  
残土処理数量・現場吹  
付法杵工の数量は？

答 掘削数量は255  
4立米が3499立米  
に変更、残土処理数量  
2428立米が288  
5立米に変更、現場吹  
付法杵工462.6立  
米が481立米に変更  
した。

主な歳入は地方創生臨時交付金  
555万5千増額と、村債5  
40万円の増額は県単治山事業  
にかかる緊急自然災害防止対策  
事業債である。

主な歳出は桜植栽委託に係る費  
用85万3千円と物価高騰対策  
重点支援臨時交付金に係る費用  
等601万円である。

浜砂恒光 雑入で85万1千円と歳  
出の桜植栽委託料の85万3千円は  
連動しているのか？

答 歳入はキリンビール晴れ風ア  
クション85万1千円支援による  
桜植栽を診療所川向の村有地に、  
桜200本の植栽を計画。

上米良重光

治山費の中で一般財

源から起債を借りることになっている  
が、起債の充当額と交付税の充当率  
は？

答 起債の充当率は100%で元利償  
還金の70%である。

田爪朝幸 物価高騰対策重点支援地方  
創成臨時交付金の対象世帯と金額は？

答 非課税世帯に3万円の給付金を交  
付し、村内の対象者が184世帯、そ  
の他子ども加算というものがあり、18  
歳未満の子もいる場合、非課税世帯に  
1人当たり2万円の交付となる。3月  
中に交付したい。

濱砂恒光 要件確認委託の5万円は？

答 非課税世帯等の給付要件確認を社  
会福祉協議会に委託。

### 特別会計

#### 国民健康保険事業

歳入歳出それぞれ3450万円を  
増額し3億1783万8千円とな  
った。

黒木敏浩 一般の診療から高額両方が  
増えているが、特別な理由があったの  
か？

答 件数は増えていないが、高額な医  
療費の心疾患、脳疾患、あとは特定疾  
患が出ている。

## 監査室より

役場各課毎に定期監  
査を実施しましたので  
その結果を公表いたし  
ます。各課長を中心に  
それぞれの業務が推進  
されていますが、特に  
評価される業務、指導  
改善を求めた課の主な  
業務について報告いた  
します。

### 総務課

○職員の宿、日直の現状  
と今後の対応について

職員が直接宿直や土曜  
日、日曜日、祝日等に日  
直をしている自治体は定  
かではないが県内では本  
村だけではないかと思う。  
常設消防の無い本村にと  
って緊急な場合等に職員  
が対応してくれるのは、  
村民にとって大変心強い  
ものがあるが、特に宿直  
の当番職員は通常の勤務  
をし、午後5時から翌日  
の午前8時までの15時間  
の宿直を終え、引き続き

# 監査室より

勤務につくという過酷な状況にある。働き方改革が求められる今日、改善を促していたが新年度から宿日直の翌日等を当直休暇にするとのこと、その対応は評価する。

なお、宿日直の職員に対する緊急時の対応の仕方についても十分ではなかったため、マニュアル等を作成し早急に指導する必要がある。

## ◆むつ創生課

○温泉館オートキャンプ場整備の現況

オートキャンプ場とは、車1台の駐車スペースを有料貸出し、所定の広場にテント等を張り宿泊する施設のこと、今年夏休み前のオープンを予定し工事が進められている。当初は令和6年度内に完成を予定していたが、給水施設工事の遅れがあり、現在、造成工事、トイレ建築工事と共に遅れ分を並行して進めている。

○温泉施設の簡易宿泊所計画

について

温泉館の簡易宿泊施設については、現在改修中で3月末までには完成の予定になっている。宿泊可能人数は9人、1人部屋が3室、2人部屋が1室、家族4人部屋が1室とのこと。村内の宿泊施設が減少し、泊まる所が無いとの声も聞かれ観光等にも影響していたが、2つの施設整備で村の活性化に弾みがつくことを期待したい。

## ◆農林振興課

○村有林の伐採計画について

村有林の売却については委託販売だけではなく「競争入札」による販売をすべきだと指摘してきたが、今回竹原一番の久保の村有林と中学校上の村有林を競争入札にかけたこととは評価する。少しでも多くの収益を村にもたすことを心掛けてもらいたい。ただ、中学校上の村有林は「学有林」で、学校の改築等の経費にあ

てるために植えられた「目的林」である。現在の目的基金に代わるようなもので、時の中学生や保護者は下払い等を実施した山でもあり、一般財源として安易に売却すべきものではないと思う。

今後必要となる可能性もあり、その趣旨を考えた対処が必要。なお、村所中之数にも学有林がある。

## ◆教育委員会

○東大生による課外授業の効果について

東大生による課外授業には多額の経費が投じられているが、費用対効果の検証はなされているのか、宮崎大学ではだめなのかを指摘してきたが、令和7年1月27日の宮日新聞でも報じられたように、新年度から宮崎大学にお願いし、本村にゆかりのある教授にも支援をいただきながら教育学部の学生が生徒に対面での課外授業も実施するとのこと、本村の児童・生徒にとっても

先生を目指す学生にも良い組だとい大いに期待したい。

○小中一貫校の現状と課題について

良い点としては、小中学校の教職員の相互乗り入れをして授業を行っていること。校長が1人になり、統制が取りやすくなり情報共有もしやすくなったが、校長は小中学校を行ったり来たりで大変な現状にある。

今後の方向性としては、施設一体型で9年間の発達段階を見通した義務教育学校または小中一貫校にしていくことで、教師の移動、児童・生徒の輸送時間の短縮等弾力的な学校運営が可能になり、児童・生徒への教育効果もより大きくなると思われる。新任の野添教育長も一刻も早い動きが必要と考えておられるようである。

代表監査委員 黒木 正近  
議選監査委員 児玉 義和



# 総務文教常任委員会継続調査報告

委員長 児玉 義和

令和5年度からの継続で「地域おこし協力隊制度」の現状を把握するため、今回は椎葉村に伺い調査を行った。事前に質問事項等をお願いし、その回答を頂きながら説明をお願いした。

## 【質疑応答】

**問** 地域おこし協力隊制度はいつから導入し、そのきっかけは何だったのか？

**答** 平成27年度から導入した。きっかけは、Uターン促進と地域課題解決のマンパワー確保を目的とするもの。

**問** 現在の隊員数と任期終了後の定住者は？

**答** 現在活動している隊員数は20名で、それぞれのミッションについて活動している。任期終了のOB・OGは20名でそのうち11名が村内に残り働いている。定住率は55%である。

**問** 隊員同士の横のつながりは？

**答** 役場の担当者も含め月1回のミーティングを開催している。広報誌「協力隊だより」を月一回発行しておりその編集も、隊員全員が関わっているため隊員同士の仲は非常に良好。交流拠点「カテリエ」が夜9時まで開館していることも、交流の場としての意義を持つ。

**問** 活動予算についてはどうなっているのか？

**答** 50万円を上限として、特別交付税措置対象の補助事業として対応している。

隊員は自分が必要な活動に関してプレゼンを行い、予算要求を行っている。

このことにより、隊員は活動イメージの明確化ができ、行政側も初年度からプレゼンという形で定期的に意見や希望を聞くことができ、二年度以降の自立に向けた支援がしやすく、隊員と行政が目的に向かって併走できることになる。

**問** 「秘境の文筆家」事業の内容は？

**答** 4名の現役または新人の作家に椎葉村に住んでもらい、村から給料を

もらいながら小説を書くというミッションである。概ね半年に一つの作品を書き上げ商業出版することを目的としてそれを目指す。

この事業の発端は、図書館の司書として働く隊員が著名な直木賞作家の方に椎葉村に来てもらえるようアプローチしたことで生まれたミッションである。この図書館には3名の隊員が司書として働いている。

**問** 任期終了後、なかなか定住に繋がらない問題についてはどう考えるか？

**答** 3年間という期間限定された中であるので、椎葉村としては「村になかった新たなものを生み出してもらう」ということを重視している。その

後の定住については、他の市町村同様厳しい問題である。しかし、新しいことにチャレンジするマンパワーとしての協力隊員制度は有効であると思う。

新しいチャレンジだから確実に成功するとは限らないため、ある程度のリスクも感じてもらわなければならない。

現在取り組んでいる文筆家の文学チャレンジ的なミッションでは、期間終了後に作家が定住することはあまり期待できない。しかし、椎葉村にまつわる新たな作品が残って次に繋がれば良しと考える。その文化的なことを支援する村であるとか、そういうスタンスが発信できればと思っている。

## 【協力隊員に対する質問】

**問** 椎葉村には目的を持ってきたのか、来てから仕事を探したのか？

**答** 現役隊員のうち参加者4名は、自分の求める仕事を探していたらたまにたまそこが椎葉村だった。椎葉村の事は後から知った。①山や自然に関わる仕事 ②観光開発やアウトドアに関わる仕事 ③美術系の仕事 ④eスポーツやプログラミングの仕事に従事している。自分のやりたい仕事でなかつ、ある程度自主性に任せて自由に仕事ができるという募集に惹かれて椎葉に来た。

期間終了のOB2名は、椎葉のような秘境に住みたいという気持ちが先で応募し、仕事は色々やってきた。参加者①OBが

立ち上げた会社に就職、

コミュニティビジネスの支援・特定地域づくり事業協同組合の業務に従事。

参加者②自ら一般社団法人を立ち上げ、移住定住促進事業やキャンプ場の改修など椎葉村の暮らしを良くするための活動に取り組んでいる。



継続調査の様子

【椎葉村の移住サイトについて】

**問** 「地域情報スマウト」へ掲載する募集内容は協力隊員が取り組むのか？

**答** 募集広告は隊員が行

っている。隊員募集は移

住人口の入口であるので、移住先に行ったなどのようになるかイメージし易いような募集広告でなければならぬ。やることをしっかり作り込んで募集する自治体と、椎葉村のようにイメージだけ持たせてある程度は自由に活動してもらうという自治体があるが、その自由度の高さが椎葉村は高いため多くの隊員が来ていると思う。

令和5・6年度の2ケ年、継続調査を行ったので、結果を報告する。人口減少で、あらゆる分野で人材不足が問題とな

## 【終わりに】

今回の調査で椎葉村の先進的な取り組みを調査することができた。本制度の取り組み方が、本村と異なる部分が多く見え参考になった。同行願った本村の担当者も十分理解してくれたことと思う。

この結果を踏まえより良い制度となり事業成果が上がることを期待して調査報告とする。なお、継続してきた「地域おこし協力隊制度」の調査は今回をもって終了する。

調査の項目を「労働力不足対策」、「後継者不足対策」、「農林業への就業の魅力アップ」とした。

調査はまず、村内の関係機関への聞き取り・意見交換を行い、現状と問題点の把握を行った。

その結果、林業では、伐採や造林の必要量に対して、作業班が不足し、作業量を調整することがあるということであった。

作業班の確保は、森林組合FK隊の給料制の導入、森林環境譲与税を利用した「酷暑対策」などの環境改善が行われている。

農業では、家族経営の場合では人手は充足しているが、単独の場合には不足しており、作業の一部が滞る場合があるという現状も見えてきた。

## 農林振興建設常任委員会継続調査報告

委員長 黒木 敏浩

令和5・6年度の2ケ年、継続調査を行ったので、結果を報告する。人口減少で、あらゆる分野で人材不足が問題とな

り、本村の主産業である農林業でも、その影響が大きいことから、調査内容を「農林業の人材不足対策について」とし、調



また、収穫期には、知人や親戚の協力を得て、

何とか対応しているが、

収穫期のみ的人员確保は、大きな課題となっている。

このような作業に対して、求人サイト（おてつたび）を通じて、数名の方が作業に従事いただいた実績があり、有効な手段ではあるが、高額な料金がネックになっている。

農林業の就業者は高齢化し、後継者のいない世帯が増えていて、県や村では、新規就業者に対する様々な資金面、技術面の支援策を用意しているが、新規就業者となる人材の確保が重要となっている。

次に、先進地視察ですが、行政調査についても、継続調査に沿った内容で実施し、県外の町村の取

り組み状況の視察を行った。

「労働力確保」では、「レスキュー」と呼ばれる参加者が一定の料金を支払い、宿泊施設・食事・体験の提供を受けながら、収穫期の農作業に従事するという取り組みを視察した。

また、山林伐採後の再造林を行うにあたって、今までの「杉・桧」に変えて、地元の特産品の材料となる樹種を植え、そこから収入を得る「広葉



樹の森づくり」の取り組みの視察を行った。

また、水上村で林業の会社を営む経営者にお話を伺った。

人吉・球磨地方は、林業を営む会社や個人が、50社ほどあり激戦区となっているとのことであった。

経営者の方は40代で、最初は森林組合で働き、その後独立して会社を設立されている。

社員は、一般の募集では集まらないので、知人などの知り合いを通じて確保し、現在は8名を雇用されており、社員に対しては気軽に意見が言える環境をつくり、悩みの解消や仕事の改善につなげられている。

また、経営状況も常に共有し、現場毎に儲かる

作業行程を組んで作業はないか。

後継者の確保については、跡継ぎが帰ってこない状況もあるため、「地域おこし協力隊」のよう

現在は造林が中心だが、今後は社員を増やし、伐採も手がけて行きたいと抱負を語られていて、林業に強い思いを持ち、熱く語られる姿に、私たちも元気をいただき、農林業にはこのようなリーダーが必要だと改めて感じました。

本村の現状や視察等での情報を勘案したとき、一つの方向性として、収穫期の労働力の確保については、「レスキュー」のように、お金を払って、観光や交流を楽しみながら農作業体験もしたいという方もいるので、このような方を取り込む方策を検討することも必要で

今農林業に従事している若い方は、今後リーダーとなつて、新規就業者の指導や事業の充実・拡大によって本村の農林業を牽引していただく方々なので、この方々がリーダーとなれるよう、必要な支援をしていくことは、最も必要なことではないかと感じた。

## 第1回臨時会(R7/2/17)

## 議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

|           |                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------|
| 契 約       | 令和5年度明許繰越 林道長谷・児原線災害復旧工事 豪雨災害1号箇所工事<br>請負変更契約について |
| 令和6年度補正予算 | 一般会計補正予算(第7号)                                     |
|           | 国民健康保険事業勘定会計補正予算(第4号)                             |

## 第1回定例会(R7/3/7~14)

## 議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

|                 |                                   |
|-----------------|-----------------------------------|
| 条例の制定           | 空家等対策の推進に関する条例の制定について             |
| 条例の一部改正         | 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について          |
|                 | 村営住宅管理条例の一部改正について                 |
|                 | 国民健康保険税条例の一部改正について                |
|                 | 高齢者介護予防・生活支援事業利用者負担金徴収条例の一部改正について |
| 条例の廃止           | 高額療養費支払資金貸付基金条例の廃止について            |
| 管理者の指定          | 公の施設の指定管理者の指定について                 |
| 令和6年度<br>補正予算   | 一般会計補正予算(第8号)                     |
|                 | 国民健康保険事業勘定会計補正予算(第5号)             |
|                 | 国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第4号)           |
|                 | 介護保険事業勘定会計補正予算(第3号)               |
|                 | 後期高齢者医療事業補正予算(第3号)                |
|                 | 簡易水道事業会計補正予算(第4号)                 |
|                 | 下水道事業会計補正予算(第3号)                  |
| 令和7年度<br>当初予算   | 一般会計当初予算                          |
|                 | 国民健康保険事業勘定会計予算                    |
|                 | 国民健康保険診療施設勘定会計予算                  |
|                 | 介護保険事業勘定会計予算                      |
|                 | 後期高齢者医療事業予算                       |
| 令和7年度<br>公営企業会計 | 簡易水道事業                            |
|                 | 下水道事業                             |
| 諮 問             | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて       |
| 議員発議            | 議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について          |

第1回定例会

条例改正

現地調査

第1回臨時議会

監査室より

委員会調査報告

一般質問



# 一般質問

黒木敏浩 議員



議事録は  
コチラから



## 行政の取組みについて

### 西米良村を未来永劫に持続可能とする取組みを行う

本村では、子どもたちを「村の宝」と位置づけ、学習面では、伝統文化・食文化を取り入れた授業や最先端のIT教育が行われ、「体の成長」には、栄養バランスのとれた給食が提供されている。

伝統文化では、「神楽」や「民話」が大切に伝承されている。

しかし、人口が千人を切る状況の今、様々な問題がでてきている。

このような状況を踏まえ・学校教育に取り組む基本的な考え方について

・給食センターの職員体制の確保について

・神楽などの伝統文化の伝承について

以上3点について、教育長の考えを伺う。

#### 教育長

「教育は国家百年の計」という言葉があり、人づくりこそが国づくりの要という意味で、この言葉は本村にも当てはまり、子どもは「村の宝」として、村民一丸となつて見守り、育ててきた結果、高い学力の水準を維持し、菊池の精神が息づく教育が実現できて

きた。しかし、人口が千人を切り、課題も増えている。

今後は、ICTの取り組みの継続、宮崎大学との連携の推進、小中一貫校のメリットを生かし、子どもたちの学力向上はもちろんのこと、西米良

のために役に立ち、社会貢献できる人材を育成していけるよう、西米良ならではの教育の充実に努める。



給食センター

ミーティング、教育委員会との情報共有、「学校給食共同調理場運営協議会」の開催などで安心安全な給食の提供を行なっている。

食物アレルギーについては、今月中に「食物アレルギー対策委員会」を開催し、来年度に向けた危機管理体制を構築する。調理員の増員、センター長の配置については、引き続き村当局と協議していく。

神楽などの伝統文化の継承については、後継者育成として、メラスポ講座に、新たに神楽と民謡の講座を、後継者の少ない小川と越野尾の保存会、民謡については、村上三絃道の協力を得て、月1回程度開催する。

また、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税で寄附を募り、返礼品として神楽のワークショップ体験や、民話・語り部ツアー、村上三絃道の講演等を実施し、村外からの交流人口を増やしていく。さらに、来年度に開催される「大阪関西万博」で、米良の神楽の6つの保存会が一丸となつて、ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた情報発信に取り組む。



村所神楽

## 濱砂恒光 議員



議事録は  
コチラから



### 教育長としての今後の 教育行政について

### 持続可能な村づくり のための教育推進に 努めたい

昨年4月1日より従来の村所小学校・西米良中学校を再編し、西米良小学校として新たな環境の下で多種多様な教育の取り組みがなされているところである。

本村の教育長として今後の教育行政にどのような取り組みがなされていくのかを伺いたい。

**教育長** 1月24日、西米良村が宮崎大学と連携協定をし、教育文化・観光・産業他幅広い分野で相互に協力し、地域の発展に寄与することを目的としている。そこで教育委員会では児童・生徒と宮大生が協働で行う探究学習

と宮大生を講師とする村営塾を進める計画をしている。

協働での探究学習においては、地域の現状を調査し、地域課題の解決方法や地域資源の活用方法について自分たちでまとめ、村長や村議会議員の皆様へ提言したり、西米良のためにできることを発信・実行したりする経験をさせる。小学生はこれまで通り体験的な活動を重視するだけでなく、地域の良さを村内外に広く情報発信する経験をさ

せていきたいと考えている。児童・生徒が本村の強みであるICTを効果的に活用し、地域課題や資源について主体的に気づき、考え、実行する探究学習を実施することで、情報活用能力もさらに高めることが期待できる。



村営塾の様子

村営塾においては、これまで東京大学の学生がオンラインで行っていた塾を宮崎大学の学生ができるだけ対面で行っていく塾の形成にし、双方向的な対話を可能にしてい

きたいと考えている。夏期講習では村出身の宮大生と協力し、講師を増員することで個別指導の充実を図っていきたい。より身近な地元の宮崎大学の様々な学部との探究学習や村営塾での交流を通して、児童・生徒の将来の進路や職業観を形成するキャリア教育の充実にも繋がることが期待できると思っている。今後宮崎大学との連携協定を追い風にして西米良村の将来を守っていく人材を育成し、持続可能で幸せ度の高い西米良村にしていくための教育の推進に努めて参りたい。

### 濱砂恒光

今後の学校運営についての現時点での教育長の考えを伺いたい。

態や運営の仕方、PTA組織などについて広く協議を進めているところである。児童・生徒数は減少することが予想され、再来年度は複式学級が2組になるような現状である。校舎についても老朽化が進むことが予想されるため、改修または新設、そして施設一体型の小中一貫校または義務教育学校にしていく必要があるのではないかと考えている。

**教育長** 令和6年度から学校の在り方検討委員会

が立ち上がり、学校の形を進めて参りたいと考えている。



## 上米良玲 議員



議事録は  
コチラから



### 人口減少問題と 商工業支援策は

### 持続可能な村づく りを進めていく

本村では、総合戦略に  
基づき人口問題に取り組  
まれている。

人口減少による影響は、  
本村の賑わいと働く場と  
して村民の生活に欠かす  
ことのできない商工業に  
おいても大きな問題であ  
る。

職種によっては、人口  
が売り上げに直結する事  
業所もあり売上の減少は、  
事業の継続や事業承継な  
どにも大きな影響を与え  
るだけでなく村民の生活  
にも直結してくる。

商工業支援で、これま  
でも景気対策としてプ  
レミアム付き商品券の発  
行事業や商工業振興事業

補助金など村内商工業の  
振興・地域経済の安定化  
などに大きな役割を果た  
し事業への意欲にも繋が  
ってきた。

しかし、支援事業の有  
効な期間においては、効  
力を発揮するものの事業  
継続の打開策にはなっ  
ていないのが現状である。

村民の生活を支える事  
業所の安定こそが村の活  
性化や働く場所に繋がり  
事業の継続にも大きな影  
響を与えると考えている。  
村民の生活や村の活性  
化を考えると一事業所の  
問題ではなく行政も一緒

になり本村の未来のため  
に知恵を出し合い取り組  
んでいくべきだと考える。

人口減少問題と商工業  
支援について、村長の考  
えを伺いたい。

#### 村長

総合戦略に基づき、  
基本目標である村の実現  
に向け政策目標を定めて  
いる。人口減少問題は、  
深刻な担い手不足、伝統  
文化やコミュニティの  
維持が困難になることな  
ど強い危機感を持つてい  
る。また、商工業の後継  
者問題についても経営者  
の高齢化や後継者の確保  
が喫緊の課題となってい  
る。

商工会が令和4年度に  
事業者及び空き家店舗の  
所有者を対象に実施した  
アンケート調査によると、  
承継者・承継先のマッチ  
ングや専門家と連携など  
支援を求める方が一定数

はいることがうかがえる  
結果であった。

事業承継については、

既存事業者が保有する貴  
重な経営資源やノウハウ  
の散逸を防ぎ、地域の財  
産として事業を継続させ  
るための手法として、大  
変有効なものだと認識し  
ている。まずは経営者の  
皆様に様々な事業承継の  
方法があることを知って  
頂くことが重要である。

廃業を考えている方で  
あっても、早期の後継者  
探しを広くPRすること  
により、事業を継続でき  
る可能性はあるが、一般  
的な手続には契約締結に  
至るまで長い期間と多額  
の費用を要する。

村としても、より多く  
の方の円滑な事業承継が  
進むよう、商工会と緊密  
な連携を図りながら、事  
業承継に係る費用の一部

補助制度等の創設につい  
ても前向きに検討をして  
まいりたい。

人口減少社会であって  
も、持続可能な村づくり  
を進めていく必要がある  
ことから地域の方々と  
様々な関わりを持つ関係  
人口の創出と拡大が地域  
の活性化や地域づくりの  
担い手確保にもつながる  
と考えている。

次年度は、第3期の総  
合戦略の策定年度になる。  
これを機会として交流業  
や宿泊業の皆様にとのよ  
うな支援が必要か、どの  
ような業種を残していく  
必要があるのか、また新  
たに必要な業種はな  
いのかなど、十分な協議  
を行い活力のある村づく  
りの方向性を示してい  
たい。

## 上米良重光 議員



議事録は  
コチラから



## 森林作業隊の設立について

## 林業従事者や新規担い手への支援

現在の作業班の状況は造林班が8班の16人、林産班が自伐林産を含め6班の17人まで減少しているのが現状である。作業班の減少により、伐採・造林・下刈とも村外業者が請負し、相当な金額が流失している。このままでは高齢化になり、切る人・植える人も減少し林業経営が困難な問題が発生する。

本村も作業班を確保するためにも森林作業隊を設立し、人員確保を前提に全国に募集をかけていく必要がある。特に林業の仕事は経験を積まないと危険であるため、仕事



減少対策に繋がると考えるが、村長の考えを伺いたい。

### 村長

聞き取り調査による本村の就業林業就業者は38名で、平均年齢が54・68歳と高齢化が進んでいる状況である。

現在、村内林業従事者の高齢化及び村内者の実行割合が減少しているため、質問のあった森林作業隊の設立については、昨今の本村における林業従事者等の現状を鑑み、まずは新たな林業従事者を受入れ、育てる取組が必要になる。

先進地研修等を行い、数年間森林作業隊の設立について可能性を模索してきたが、コスト面や運営方法などを総合的に検討した場合、今までの経験や環境が整った林業事業体を育成支援する方法

を検討したいと考えている。具体的な対策としては、令和7年度当初予算において、地域おこし協力隊制度を活用した新たな林業従事者の確保に向けた取組を始める。年間1名から2名程度をホームページなどで公募し、希望者と村が合意した後、地域おこし協力隊員として雇用し、1年～2年の間で林業従事者に必要な資格取得を目指す。資格取得以外の期間は下刈りや植付けなど幅広く村内の林業事業体等に研修を依頼し、実際の仕事を通じて指導し、知識や技術などを身につけていければと考えている。地域おこし協力隊任期後は個人の考えを尊重し、村内への林業事業体等に就職を促す。

令和6年度より県や森林組合、村で毎月開催している林政部会において、担い手確保へ向けて課題や施策など、協議を重ねていく。関係課の職員が協議に加わり、多様な意見交換を実施している。

今後も県や関係機関と連携を図りながら、林業従事者や新規担い手への支援を継続していく。

地域おこし協力隊のサ



## 田爪朝幸 議員



### 民話を活用した 観光振興について

議事録は  
コチラから



### 提案も念頭に置き ながら観光振興を 検討していく。

うるし兄弟の民話が、昭和51年の1月にTBS系全国アニメ「まんが日本昔ばなし」で放送されてから来年で50周年を迎える。この記念の年に合わせて、改めてこの物語の絵本化や書籍化などに取り組み、西米良村の民話を広くアピールしてはどうかと考える。また、物語の舞台である小川地区において、看板の設置や更新も行えば相乗効果があると考ええる。アニメ放送50周年というキャッチコピーを使い、教育委員会や観光協会、おがわ作小屋村などにも協力を



小川地区 蛇淵

### 村長

西米良村の民話については、米良のあさよむ村民運動や精霊カリコボーズを活かした観光振興など、民話が西米良村の地域振興のバックボーンとなっていることは皆さんも御承知のことだと思います。議員のおっしゃるように、うるし兄弟は「まんが日本昔ばなし」でアニメ化されていますが、もうすぐ50周年を迎えることはこの質問で初めて知ったところである。1

月から野添教育長にお越し頂き、関係課も含めこれからの地域振興の在り方をいろいろと協議する中で、村に残る民話・神楽・民謡を活用することで、本村の活性化につなげていこうという方向性も見えてきているところ

である。ちょうどよい機会なので、今回頂いた提案も念頭に置きながら、今後の観光振興を検討していく。

### 田爪朝幸

すっかり検討をお願いする。また提案ですが、この「うるし兄弟」を、西米良村のゆるキャラ「カリコボーズのホイホイくん」に続く第2のマスコットキャラクターとして公認してはどうかと提案する。民話や観光、商品の開発等を盛り上げる新たな起爆剤になると考えるが村長の考えは？

### 村長

ゆるキャラブームは2010年頃から流行り始めたが、少しピークをもう過ぎてしまったところがあるかと考える。私の考えではちよつと厳



うるし兄弟

## 受賞おめでとうございます

令和6年12月1日付けで、元西米良村議会議員の中武正毅さんが地方自治功勞として瑞宝双光章を受賞されました。

中武正毅さんは、平成11年に西米良村議会議員に初当選以来、平成27年までの4期16年の長きにわたり議員として在職され、各種委員長、副委員長を歴任し、高邁な政治理念をもって地方自治の発展と住民福祉の向上に多大な貢献をされたことが認められました。

令和7年2月27日(木)に、村長より中武正毅さんへ叙勲伝達式が行われました。誠におめでとうございます。



中武 正毅 さん(板谷地区)



### 表紙の紹介

#### 【100歳 おめでとうございます】

先日4月15日で100歳(百寿)を迎えられた佐伯正直さん(村所)。正直さんは昭和26年に役場に入庁し、昭和45年から平成2年までの5期20年、教育長として村の行政・教育に携わってこられました。これまで長きにわたり地域の発展に尽力され、今も変わらぬ笑顔で穏やかな日々を過ごされています。



## 編集後記

桜の季節が過ぎ新緑の季節となりました。若葉が茂る山々は新たな時代を作り出すかのよう。にその濃さを増しております。村の宝である子供達も幼稚園、小学校、中学校に入園入学し希望と不安を抱きながらその道を歩み始めました。少ない人数の小さな村ですが、一人ひとりがそれぞれの方法で目的に向かって進んでいきます。「10000人が笑う村」を目指して！

議会広報委員会は、「議会だより」をもって村民の皆さんへ村政の情報をお伝えする重要なパイプ役をしていくと理解しています。今後とも広報委員会一同、精一杯精進して参りますのでご協力をお願い致します。(義和)



#### 議会広報常任委員会

委員長 児玉 義和  
副委員長 黒木 敏浩  
委員 田爪 朝幸  
上米良 重光